

堆肥や土壌改良材施用に支援

鶴岡市農作物高温対策会議

鶴岡市農作物高温対策本部（本部長・皆川治市長）の第3回会議が18日、本所で開かれ、被害状況と支援策について協議されました。

J A庄内たがわ20・5%、J A鶴岡5・6%

水稻は、

作況指数が「99」と
平年並みであったが、
反収は15 kg / 10 a 減の
582 kgとなった。

国が12月1日公表した1等米比率は、山形県が47・4%で、昨年より48・1ポイント低下となった。
前年との比較では、概算金（約1200円増）、相対取引価格（11月はえぬき約1600円増）ともに上昇した。

1等米から2等米への落等により概算金は600円減少した、1等米比率の現状について、J A庄内たが

わは全体で20・5%（12／8現在）、J A鶴岡は5・6%（12／12現在）であった。

大豆は、

早生品種のリユウホウは前年より6割程度減少し、高温の影響を大きく受けた。

中生・晩生品種は、品質、収量とも平年並みの見込み。
そばは、

10 aあたりの反収が前年よりも約3割／7割減少している。

朝日など一部地域では、反収が増加しており、地域でばらつきがみられる。

園芸品目の状況は「上表」のとおり、報告されました。

土づくりを重点に

支援策は、猛暑被害を踏まえ、化学肥料からの転換等「土づくり」を推進し、次期作の支援を講じるとしています。

国の「低成分肥料」
購入費の一部支援

市単独で「堆肥の施用」への支援

市単独でケイカルや苦土石灰等の「土壌改良材の施用」への支援を、予算化するとしています。

ふるさと賛歌 17

鈴木重雄（八色木）

海藤徳右衛門の来歴
八色木薬師瑠璃光如来堂の由来を書くためには、海藤徳右衛門の来歴を調べなければならぬ。

海藤家は現在26代現当主徳之（のりゆき）さん（とうき）というから、450～500年位は経っていると思う。

先代の徳三さんから聞いた言い伝えによると、薬師如来像が八色木鴻崎の耕地から出現したのは、本紙12月3日号に書いたとおり、延宝5年（1677）とあるから、大体あたっていると思う（薬師文書）。



（海藤家25代の故・徳三さん）

墓地は永慶寺にあるが、墓石は古く、字は読み取れることは出来ない。場所も、もりの山一番の所にあり、隣に永慶寺元祖田沢家の墓が並ぶ。

屋敷は、現在の海藤家と薬師堂境内、旧農協（村役場跡）一帯であった。

如来像出現後、堂宇を建て、手向村の正善院に相談し、祈願寺として祀ってきた。

以来何度か羽黒山に入峰し、真善院の称号を授けられているが、

称号は代々変わっているようである。

明治の廃仏毀釈により、正善院の飛地として現在に至っている。

代々、堂宇の維持管理には私費を投じて護理に続けていることに、村人は均しく敬意を表すものである。

☆ ☆ ☆

12月は、太平洋戦争開戦を思っ

忘れもしない昭和16年（1941）12月8日未明、日本海軍がハワイ真珠湾でアメリカ艦隊を奇襲攻撃し、悲惨な太平洋戦争が始まった日である。

この奇襲攻撃に、麻生繁さん（藤島）も巡洋艦（護送船団）乗組員として参戦したという。

この日は、朝からみぞれが小雪に変わり、風はないが底冷えする日であった。

私は小学校高等2年生であった。

体操場南側の教室を挟んで中庭があり、渡り廊下の軒先のモミジの枝に、少しずつ積もっていく濡れ雪が、鉛色の空のような淋しさを感じた。

ラジオは軍艦マーチの音楽を放送して、戦績を鼓舞していた。

体操場の壁には戦果が貼られ、成績の優れた同級生は、陸軍幼年学校や、海軍予科練に入学した人もいた。

鶴岡市の物価高騰対策

新規に通園バスの燃料費や、土づくり支援、交通事業者の運転手確保など

鶴岡市原油価格・物価高騰等総合緊急対策本部会議（本部長・皆川治市長）の第7回会議が18日、市役所本所で開かれました。

国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に係る補正予算の成立に伴い、本市の物価高騰等対策について報告されました。

国の7万円給付

国の低所得者層への支援は、

①住民税非課税世帯に、1世帯当たり7万円給付（4月臨時会の既給付分3万円とあわせて10万円）

国から市への配分額は、6億4119万円です。

国が検討中の予備費による事業は、

②住民税均等割のみ課税世帯に対する支援金（1世帯10万円）、

③子育て世帯に上乗せ給付（①・②に18歳以下の子ども1人当たり5万円を加算）です。

（注）世帯員全員が、均等割課税者の扶養になっっている世帯は、①③の給付対象外。

4万円の定額減税

④1人当たり4万円の国の定額減税（所得税3万円＋住民税1万円）で、納税額が少なく、減税の恩恵が満額

受けられない所得層に、

4万円と減税見込み額との差額分を、1万円単位で支給方針は、令和6年度補正予算で対応を想定しています。

国の対象外に拡充

地方創生臨時交付金（推奨事業メニュー）に対応する市独自の事業は、配分枠が3億3668万8千円です。

①上記の（注）により給付対象外となる低所得世帯への市独自の拡充

上記の①又は②の世帯員を扶養する者が、均等割のみ課税者で、所得割が課税されていない場合は、市独自で同様の給付を行う。

②物価高騰・高温対策として、次期作に向けた土づくりへの支援
③2回目の消費喚起クーポン券事業（県補

助事業）

④消費喚起クーポン事業と連携した水産業支援

⑤畜産農家の飼料価格高騰に対する支援

⑥社会福祉施設等に対する、物価高騰支援（保育所通園バスの燃料費高騰対策を含む）
⑦交通事業者の運転手確保の支援

1回限りで、後には大軍拡増税

国の経済対策の目玉は、減税と給付ですが、物価高騰にあえぐ暮らしの実情に見合っていない。

国民は、「1回限りで、後には大軍拡増税が待ち構え、岸田政権の人氣取りだ」と見透かしています。
減税するなら、消費税減税が経済対策に最も効果があります。

東田川史跡物語 明治天皇の巡幸 ② 青山 崇



行列図だが、左下隅に「錦の御旗」、乗馬の侍従長、中央の黄色い列中に参議、大臣その後には天皇の乗物が続く。京都府は政府に先行して凡そ次のような「京都府下人民生告諭大意」（下写真）を1869（明治2）年に出し、政府はこれを増刷し「奥羽人民告諭大意」など多方向に配布した。

「天子は天照大御神の子孫で、世の始より日本の主である。一尺の地一人の民もみな天子様のもので、日本国の父母でおられるので、敵対するものは大名といえども、命をとりある。」

政治君主としての天皇よりも、神の子孫という宗教的・神的権威に対する信仰的な畏敬と恭順がつくりだされ、それと一体のものとして、神道を国教化していく。



政権を変えよう

今すぐにも自民党政治を終わりにしたい大事件。政治資金事件の発端は、去年11月の新聞赤旗の記事からだった。それを調べて行

ったら裏金が発覚したのだが、アベ派だけでなく、自民党5派に共通していたとは驚きだ。政権を変えなきゃ治らね。何故なら国民の

いう事は聞かないで、財界の言う政治のため金を貰う（パーティー券も同じ）体質が治らないからだ。身近な例が、国民と医療機関の大多数の保険証を残してくれ・との声は、全然聴く気がないでしょ。

▲初め憶か・と言われている裏金が5億を超すか？と。首相は、「修正すべき箇所があれば適切に対応するよう指示した」との報道。修正すべき箇所とはなんだ？間違ったのなら修

天皇神格化の始まりで、1889（明治22）年に大日本帝国憲法発布、翌1890年の教育勅語で完結される。国民の頭は「テンノウヘイカバンザイ」で洗脳され、死に追いやられた。



「京都府下人民告諭大意」

正は分かるが、これは意図したものなのだ。誤魔化したのを、適切に対応とはどんなことするんだや。俺には、「早く説明責任を果たして辞職せよ」と聞こえるんだが、ハッキリそう言ったら？

▲政治への信頼回復のため、火の玉となって取り組んでいくと言った首相。「火の玉」とはどういうものか、鈍音でないように願いたいが、それにはまず、首にした大臣に話させや。まだ捜査中なのでと逃げるだろうが、特捜の調べが早く進むよう語らせる責任がある。それがまた、首相にある選任者責任というもののじゃないの？

▲最低を更新中の内閣支持率。これを語らせるところで上がるとは思われないから、信頼回復は下野して身を清める事だ。パーティー券の消費税はどうなってるの？（石川）